

商業科「ビジネス実務」授業実践紹介

授業者：赤畠真一

学年：2年普通科文Ⅱ系（選択者）

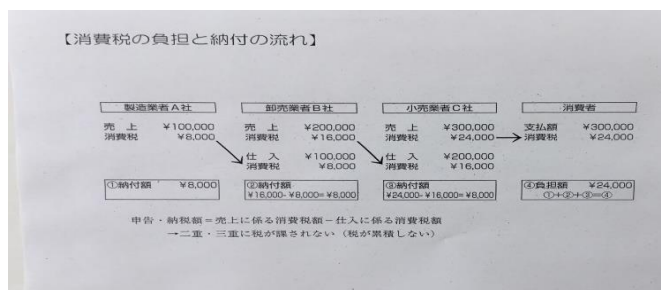
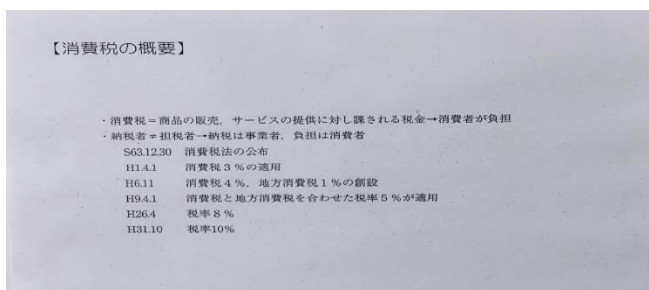
単元名：税の申告と納付（消費税）

単元のねらい（7つのチカラ：考える力、自立する力）

- ① 消費税の特徴と負担のしくみについて理解する。
- ② 課税要件について、課税対象、納税義務者の面から理解する。

単元の流れとパフォーマンス課題

- ① 消費税の概要を知る（3時間）
 - (i) 消費者が負担し、事業者が納付することを理解する。
 - (ii) S63.12の消費税法の公布からR1.10の税率変更までの変遷を理解する。
- ② 消費税の課税要件を知る（2時間）
 - (i) 課税対象？
 - (ii) 納税義務者？
 - (iii) 課税期間と基準期間など



- ③ パフォーマンス課題に取り組む（3時間）

『標準税率10%と軽減税率8% ～線引きがややこしい～』 現場に行って調査してみよう！！

 - (i) 店内で食べるイートインとテイクアウト？
 - (ii) 保冷用の氷と飲み物用の氷？
 - (iii) ビールとノンアルコールビール？
 - (iv) みりんのみりん風調味料？など

以上、(i)～(iv)などを現地調査して結果を明確にまとめると同時に消費者としての個人の意見も含めてまとめる。(なぜ線引きがあるのか？を含む) まとめは原稿用紙320文字以上400文字以内でまとめる。

パフォーマンス課題の評価

	A	B	C
I 態度	複数店舗に出向き、熱心に調査することができた	いつも行く最寄り店に行き調査できた	店舗に足を運ぶことができなかった
II 表現（まとめる）	調査対象が二項目以上あり明確に説明できている また、個人の意見も含めまとめられている	調査対象は一項目であるが調査結果を踏まえ個人の意見も書けている	調査結果が明確に書けていない
III 理解	消費税の概要や課税要件も十分理解しまとめることができた	消費税のしくみそのものは理解しまとめることができた	線引きも含め消費税のことをあまり理解できなかった

単元を通して身につけてほしいこと

消費税は担税者と納税者が異なることを知り、課税要件の基本を身に付け、非課税となる取引についても理解してもらいたい。また、消費税額が価格の一部として転嫁していく流れも理解してほしい。

実践の背景

- 本学では生徒自らが、主体的に考え、表現するという学びの機会を増やすことで自主的に学ぶことのできる力を培うことを目標としている。
- 表現力をより養っていくために、理論の習得のみならず、実社会の現場に足を運び、職業人としてより実践的な力を身につけさせようと努力している。

授業改善のアプローチ

- 10月の税率改正によってどのような変化が起こっているのかを知るために最寄店に足を運び質問、インタビューを行うことで賢い消費者として生活することができるように考える時間を設定した。
- 一人ひとりが考えを深めてもらいたいという思いから個人によるプレゼンテーションや発表後に意見交換や共通点をまとめる作業も取り入れた。

生徒の変容

- 考える力：この単元で消費税の概要を理解し、そのうえで店舗に足を運び、実際に買い物をし、レシートを見てインタビューをすることにより税に対する考え方や関心が少し高まったと感じられる。
- 自立する力：税率変更に伴い最寄店に足を運ぶことにより消費税についての関心は高まったと思う。また、この課題を通して税の家計負担の問題や年金問題などの関連分野へ興味を持ったという声が聴かれ少し安心した。

評価

	3	2	1
I 関心・意欲・態度	ビジネスの諸活動に関する課題に関心をもち、その課題に対して主体的に取り組もうとするとともに実践的な態度を身につけている。	ビジネスの諸活動に関する課題に関心をもち、その課題に対して改善、向上を目指して主体的に取り組もうとしている。	ビジネスの諸活動に関する課題に関心をもちようとしている。
II 思考・判断・表現	ビジネスの諸活動に関する課題の解決を目指し、ビジネスに携わる者として適切に判断し表現する創造的な能力を身につけている。	ビジネスの諸課題に関する課題の解決を目指し、思考を深め適切に判断しようとしている。	ビジネスの諸活動に関する課題の解決を目指し、思考を深めようとしている。
III 技能	商業の各分野に関する基礎的、基本的な技術を身につけ、ビジネスの諸活動を計画し、その技術を適切に活用できる。	商業の各分野に関する基礎的、基本的な技術を身につけ、ビジネスの諸活動を合理的に計画できる。	商業の各分野に関する基礎的、基本的な技術を身につけようとしている。
IV 知識・理解	学習内容に関する考查での理解の程度が70%以上である。授業や実習の成果物の内容が80%以上である。	学習内容に関する考查での理解の程度が50%以上である。授業や実習の成果物の内容が70%以上である。	学習内容に関する考查での理解の程度が25%以上である。授業や実習の成果物の内容が50%以上である。

【長期ルーブリック】